

ひかり

令和7年12月15日(月)

静岡大学教育学部

附属静岡小学校

6年学年便り 冬休み・1月号

「自分も、みんなのために活躍することができる」／「どんな困難があっても挑戦し続けていきたい」

「これからも今を生きていきます」／「これからもたくさんの人と出会い、お互いを高め合っていきたい」

「練習した時間も努力も無駄だったんじゃないか、そう思いました。でも、きっとそんなことはない、今では思います」

97人の『ひかり』一人ひとりが、自己の向上や周囲の改善に資するために力を尽くしたり、自らの将来をより良くするために努力したりすることを願った【自らをきりひらく子】に迫り、授業と、生活と、行事とに向き合っていくことを願っています。そうやって【自らをきりひらく『ひかり』】がつくり出せるものこそが“ひかりにしかできない〇〇”といえるものなのではないでしょうか。私たちは、97人なら必ずそれが実現できると信じています。

『ひかり』が6年生になった4月、この学年便りに書いた文章です。早いものでここから9か月が経ち、2025年に別れを告げようとしています。附属小最高学年となった2025年は、運動会や本キャンプ等、これまでの学年でも経験してきたものであっても、以前と大きく異なる視点での経験を得てきたはずです。一人ひとり、また各学級や97人の『ひかり』で取り組んできたもの、そのどれもが“ひかりにしかできない”ものであったと、傍で共に過ごしてきた教師として確信しています。

現在、各学級で卒業文集の制作にあたっています。「たかが卒業文集―」そのように考える人もいるかもしれませんが。一生の内に何度開かれるかわかりません。しかし、多くの人が何かしらの形で生涯保管し、思い出として持ち続ける物の存在はそれほど多くはありません。「今の自分」を記録し、未来の自分を支える存在として、大切に取り組みたいと考えています。各学級の色が出た学級ページももちろん魅力的ですが、一人ひとりが自身と向き合い、見つめ直し、そして将来に目を向けているその文章は、心惹かれるものばかりです。自分の思いを言葉にして表出したり、少し飾った言葉にしてみたりすることは、難しさを感じたり、人によっては恥ずかしかったりするのかもしれませんが。しかし不思議なもので、初めは「えー、書くことないよ!」「900文字とか絶対行かないでしょ!」と反応を返していた子も、作り始めればどんどん書き進めていきます。

そんな中、ある子が友達に駆け寄り「〇〇、いいなあ!書くことたくさんだね!実行委員も頑張ってたし、あっ、去年も運動会の時とかつどの時とかさ…」と共に過ごしてきたからこそその言葉を掛けていました。この子どもは、友達の良さをよく捉え、友達が存分に力を発揮できるように支えることを努力してきました。その姿勢は4年生からずっと変わらず素敵のままです。だからこそこのような暖かな声掛けができたのでしょう。そんなこの子は、6年生で中心となってみんなを引っ張る役に挑戦しました。「自分も、みんなのために活躍することができる」という言葉は、この子の作文に見つけた言葉です。仲間を支え、その良さを知っているからこそ、自分自身の良さを捉えることができた“この子ならではの”な言葉に思えてなりません。「どんな困難があっても挑戦し続けていきたい」この言葉を書いた子どもは、打ち込むものを持っている子です。運動会においては大きな役割を背負い、練習ではなかなか結果が出ない中でも、本番で全力を出し切り、自らで結果を手繰り寄せ、姿でこの言葉を示していました。自分の進んできた軌に確かな自信と誇りを持っているからこそ、この言葉で決意を表したのではないのでしょうか。「これからも今を生きていきます」この子は常に“自分や周囲にとって真に『良い』ものか”を問い続け、真摯に取り組む姿で日々を過ごしていました。毎日、毎時間を大切にしている姿勢の背景にはこのような思いがあったのかと胸が震えました。授業において、行事において、常に自分の思いを発信し、仲間とぶつかり合っても妥協せずに進もうとするある子は「これからもたくさんの人と出会い、お互いを高め合っていきたい」と述べました。日々、しなやかさをもって進むこの子は「高め合いたい」思いを原動力にしていたのでしょうか。「練習した時間も努力も無駄だったんじゃないか、そう思いました。でも、きっとそんなことはない、今では思います」―。常に笑顔で、仲間の存在を大切にしながら自分のやるべきことに向かうことができるある子がこう書きました。結果や成果は必ずしも芳しいものとは限りません。しかし、誠実に自分と向き合い、【自らをきりひらく】を実現したからこそ、自分への手ごたえを感じられているはずです。どの言葉も、それぞれの子どもの大好きな部分が表れていて大好きです。ここには紹介しきれませんが、他の子どもの作文も同様です。その子ならではの、ひかり輝く言葉が散りばめられた卒業文集を手にとれる日が楽しみでなりません。

保護者の皆様につきましては、本年も本校の教育活動に多大なご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。97人すべての子どもにとって良い1年であったことを心から願い、来る2026年に素晴らしい門出を迎えられるよう、ひかり職員一同、今後も支えていく所存です。残された『ひかり』と共に過ごせる日々は決して多くありませんが、毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。来年もよろしくお願いいたします。